

## こみゅにTe@たいむ

## 補助団体が決まりました



町内会や市民団体など 14 団体への補助が決まりました

まちづくり事業補助金および市民団体活動推進事業補助金の公開審査会が 7 月 27 日、シビックセンターで開催されました。

審査の結果、まちづくり事業補助金 5 団体と市民団体活動推進事業補助金 9 団体が採択されました。補助金額は最大 30 万円で補助率は 75% 以内です。事業の内容および次年度以降申請を考えている団体は地域振興課まで問い合わせください。

## 【まちづくり事業補助金採択団体】

- ・奥山町内会
- ・上野部落会
- ・下海上自治会
- ・下平一町内会
- ・下米沢自治会

## 【市民活動推進事業補助金採択団体】

- ・きずな
- ・金田一地区友の会
- ・桑畑再生組合
- ・(公社) カシオペア青年会議所
- ・二戸ガンバン N I G H T 実行委員会
- ・二戸市商工会青年部
- ・New South Gate
- ・夢あかり交流事業実行委員会
- ・よりやんせ金田一

問い合わせ先 地域振興課 (内線 352)

## —地域おこし協力隊通信—

## たかっぼの中



## 六かき目「思いを込める」



今年の夏の思い出と言えば、やはり天候に悩まされたことになるでしょうか。8 月には、記録的な大雨が各地で降り、インフラをはじめさまざまな所へ打撃を与えました。都心では猛暑日が続く、熱中症となった方々が病院へ運ばれていくニュースが流れるなど、常に注意が必要な環境でした。

私も町中の取材をしていた時、怪しい雲が空にいきなり発達し、次の瞬間土砂降りの雨なんていう経験をしました。最近のは、朝の天気予報にはなかった天候へと変化する日が多くなつたように思います。ツアーで来るお客さんを案内するのに、ハラハラしていたことが今となっては一番の思い出です。

ツアー時の人気プログラムは、産直で販売している新鮮な野菜や果樹のお買い物タイム。だから、より正確な情報をお客さんへ提供し、少しでも多く特産品を買ってもらうためにも、産直情報の更新は重要な日課です。

特に、取材の時に気にする事は「なぜ、その野菜を作ったのか」「なぜ、今年も良く収穫できたのか」など、農家の皆さんの思いに耳を傾けて、可能な限り理解することです。浄南ママ直のお母さんたちへ取材をしたときのことですが、野菜の収穫具合や、今年施した農薬の工夫、新しく始めた品種などさまざまなことを教えてくれました。

私は農業について素人なので、専門的なことは十分に理解することはできませんでしたが、天気が悪いので育ちにくかったという苦労話や、逆に準備ができていて上手に収穫できた野菜の自慢話はとても興味深く、そして、そんな話をするお母さんの顔は決まってキラキラと輝いています。まさに地域の宝と感じる瞬間です。

まだまだ暑さが残るこの頃、体調を崩さないためにも引き続きお天気チェックには気を抜くことができません。旬の食材を食べて、今月も張り切ってお母さんたちの思いを伝えていきたいと思っています。

## 地域おこし協力隊企画・二戸の宝を訪ねる旅

豊臣軍が眠る天ヶ塚伝説 ～秋彩漂うかっちゃん料理と栗拾い～

日時 9 月 29 日 (日) 午前 9 時～午後 3 時 30 分

集合場所 午前 8 時 45 分 二戸駅西口

募集人数 先着 20 人

参加費 4,500 円 (バス代・昼食代・ガイド料・栗拾い体験料・保険料含む)

問い合わせ、申込先 銀河鉄道観光 (☎ 019-654-1489)

【地域おこし協力隊ブログ随時更新中!】

URL <http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/>